

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	看護基本技術Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	夜久 泰子	実務経験と その関連資格	大阪市立病院勤務(約20年) 看護学修士			
《授業科目における学習内容》						
看護実践を行う上での基本的な思考過程である看護過程(問題解決思考)のプロセスを理解する。紙上患者による事例をもとに看護過程展開プロセスを体験し、データに基づく論理的思考を習得し、臨地実習での適応方法を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
課題、課題の提出状況50% 筆記試験50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 資料配布						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと 前回授業内容について復習をしておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
看護過程は看護実践を行う上で不可欠な思考過程です。看護過程の思考の基本を講義演習で学び、臨地実習での実際の患者への看護実践を通しての習得につなげましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程の意義目的、進め方について説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	1. 看護過程の意義、目的 2. 看護過程の構成要素とプロセス 3. 看護過程における3つの診断			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程展開の基盤となる考え方を説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	1. 問題解決思考 2. クリティカルシンキング 3. 倫理的配慮と価値判断			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護理論と看護過程・看護診断の関連が説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	1. 看護の視点、看護の枠組み 2. 主な理論家の看護の視点 3. 主な理論家の看護過程			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程と看護診断の関連について説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	1. 情報収集の枠組み 2. 看護診断 3. 機能的健康パターンと看護診断			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程の構成要素(アセスメント)について、情報収集と情報整理が説明できる	教科書		
		各コマにおける授業予定	1. 情報収集 2. 情報整理			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程の構成要素(アセスメント)について、解釈・分析について説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	ゴードンの機能的健康パターンの11のクラスターに基づき解釈分析		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程の構成要素(看護診断・看護計画)について説明できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	1. 看護診断 2. 期待される結果 3. 看護計画		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護過程の構成要素(実施、評価)について説明できる	参考資料	
		各コマにおける授業予定	1. 実施(SOAP形式の記録) 2. 評価		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を基に看護過程過程の展開ができる(情報収集・情報整理)	教科書	提示した事例の疾患、治療、必要な看護についての事前課題を行い提出
		各コマにおける授業予定	1. 事例の基礎知識(疾病、治療、検査、必要な看護) 2. 情報収集と整理		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を基に看護過程過程の展開ができる(解釈・分析)①	教科書	栄養、排泄に関する既習知識を復習しておく
		各コマにおける授業予定	1. ゴードンの機能的健康パターンにおける「健康知覚/健康管理」「栄養/代謝」「排泄」の情報解釈分析		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を基に看護過程過程の展開ができる(解釈・分析)②	教科書	活動、睡眠についても既習知識を復習しておく
		各コマにおける授業予定	1. ゴードンの機能的健康パターンにおける「活動/運動」「睡眠・休息」の情報解釈分析		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を基に看護過程の展開ができる(看護診断)	教科書	アセスメントまでの課題を実施し提出
		各コマにおける授業予定	1. 状況、原因・誘因、なりゆき、強み 2. 看護診断のネーミング		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を基に看護過程が展開できる(計画)	教科書	看護診断についての課題を実施し提出
		各コマにおける授業予定	1. 看護診断のまとめ 2. 看護計画の立案		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例を基に看護過程が展開できる(実施、評価)		看護診断の課題を実施し提出
		各コマにおける授業予定	1. 実施記録の実際 2. 評価の視点		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例をもとに看護過程の展開ができる(まとめ)		事例を基にした看護過程の課題(今まで演習したものを)を整理して提出
		各コマにおける授業予定	事例展開の振り返り 臨地実習での看護過程展開における自己の課題		